

～「よし！ごみを減らそう！」と思ってくれる人が一人でも増えるように願いを込めて～

4R通信（第34号）

断わる 減らす 繰り返し使う 資源化する
『リフューズ♪リデュース♪リユース♪リサイクル』

簡単！生ごみの減量方法

生ごみの約80%は水分と言われています。この水分を減らすだけで、ごみ減量につながります。



ここがポイント！

- ・乾燥している生ごみは濡らさない！
- ・ごみ捨ての前に水切りする！

水分を減らすことは、ごみ袋から生ごみの水分が漏れてくることを防ぐほか、焼却により排出される二酸化炭素を減らす事にもつながり、環境美化や地球温暖化防止にもつながります！

生ごみ減容機器のすごイトコ！

水分を減らすことのほかに、生ごみ減容機器を使うことも生ごみの減量につながります。



ここがポイント！

- ・ごみを減量するだけでなく、生ごみを肥料に変えたり、生ごみそのものを無くしたりすることができます！
- ・生ごみ減容機器を購入すると、購入金額の一部が報奨金として返ってきます！

コンポスト



EMIほかし容器



キエーロ



電動式
生ごみ処理機



報奨金交付額：
購入金額の3分の2※

報奨金交付額：
購入金額の2分の1※

※交付金額は、100円未満切捨てです。

購入金額とは、ポイント値引きや商品券等の使用後の実費支払い額(税込)です。

交付基数、交付金額には上限がありますので、生活環境課までお問い合わせください。

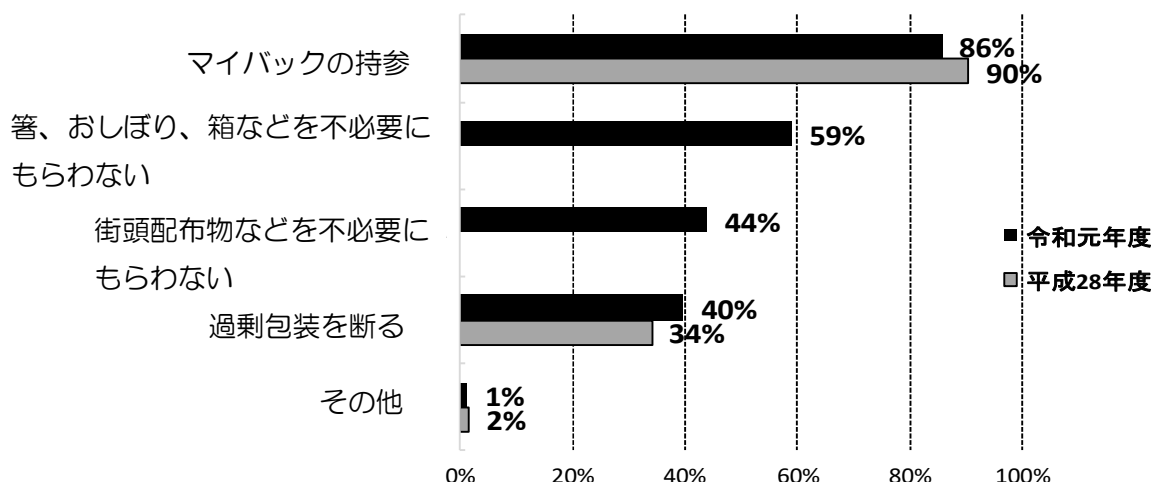
「4R とこなめ チャレンジ500」気が付けば わたしが主役 ごみ減量
常滑市では、1人1日当たりの家庭ごみ排出量500gを目標としています。

【お問い合わせ】生活環境課 0569-47-6115

アンケート調査の結果①

2019年8月に、『常滑市ごみ減量化推進計画 2017』の計画見直しのためのアンケート調査を実施しました！その集計結果を連載します！

**質問：4Rの中で1番重要な「断る（Refuse）」の行動について、
日ごろどんなことを実行していますか。**



調査結果では、「マイバッグ持参」と回答している割合が86%と一番高い割合を占めました。また、「箸、おしぼり、箱などを不必要にもらわない」と回答している割合も50%を超えていました。

4Rの「断る（Refuse）」は、家に不要物を持ち込まない、ごみ減量の中で一番重要な行動です。みなさんも、まずは「必要」か「不要」かを判断し、不要なものは断りましょう！

食品ロス0%への道④

食品ロスを減らすための『まめ知識』を連載しています。
今回は、冷蔵庫の整理術をご紹介します！

冷蔵庫の中に何があるかわからない状態だと、使いかけの食品を腐らせたり、賞味・消費期限が過ぎていたりします。また、冷蔵庫にある食品を二重で買ってしまい、食品を余らせることにもつながります。

冷蔵庫の中を見やすくすることで、食品ロスの削減につなげましょう！

①賞味期限・消費期限が迫っている食品やすぐに使う食品は、冷蔵庫の手前に置きましょう。

②食材別に段を使い分けましょう！魚や肉などの生鮮食品は、鮮度が確認しやすい段（下の方に置くと、消費期限が見やすいです）に置きましょう。

③野菜室では、使いかけの野菜は手前に置きましょう。買ったばかりの大きな野菜は下の段を活用しましょう。

